

高知大学学生の大学政策に対する関心度

—共通教育科目「大学政策論入門」の受講生を対象にしたアンケート調査—

岩崎 保道¹

(¹高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門)

Kochi University Students' Degree of Interest in University Policies :
Questionnaires Targeting Students Attending "Introduction of University
Policy," a General Education Subject

Yasumichi Iwasaki¹

*¹Kochi University Research and Education Faculty, Humanities and Social Science Cluster,
Education Unit*

Abstract : In this report, to clarify students' degree of interest in university policies, the author analyzed the results of questionnaires targeting Kochi University students attending "Introduction of University Policy," a general education subject, in 2021. The questionnaire results showed that "changes in the degree of interest due to education" improved overall. On the other hand, it was found that the degree of interest in some items decreased.

キーワード : 大学政策, 高知大学, 大学政策論入門, アンケート調査

Keywords : University Policy , Kochi University , Introduction of University Policy ,
Questionnaire Survey

はじめに

本稿は、学生の大学政策に対する関心度を明らかにするため、高知大学の共通教育科目「大学政策論入門」の受講生を対象にしたアンケート調査分析を行うものである。検討方法として、2021年に授業開始当初と授業終了時にアンケート調査を実施し、その結果を比較検討することにより、特徴や傾向を明らかにした。同科目は、高知大学の共通教育科目として開講されている（注1）。

筆者が学生の視点による大学政策に対する関心度に注目した理由は、学生が大学の重要なステークホルダーとして、どのような関心や意識を持っているのか明らかにすることは、今後の大学運営や方針を検討するうえで参考になると考えたためである。大学は教育研究機関として、地域社会とも密接な関係を持っており、多様な諸活動を行っている。その中には、学生募集活動や国際交流活動など、学生に関係の深いものもあるが、大学経営や大学教職員の人材育成など、直接的な関係が薄いものもある。大学政策に関わる、大学の基本的機能などの広い観点や、大学の様々な事業活動について、学生の意識調査を検討することは、高等教育政策を考察する上でも意義がある。例えば、蝶（2011）は、学生支援の観点において、「学生の視点」からみるうえで学生の実像・実態を捉えることは、学生支援の被支援者（＝つまり学生自身）を考えることであり、不可欠な作業となる。」として、その重要性を強調している¹⁾。また、授業の内容についてのアンケートを実施することは、その成果や課題を明らかにすることで、今後の授業改善の貴重な資料にもなる。

1. アンケート調査結果

1.1 授業開始当初のアンケート調査（第1回目）

(1) 調査目的及び調査方法

筆者は、高知大学の共通教育科目「大学政策論入門」の受講生に対して、「本授業の履修生における大学の諸活動に対する関心や理解状況を把握・分析することにより、今後の教育活動の改善に活かす」ことを目的にしたアンケート調査をオンラインにより依頼した（無記名回答）（注2）。調査項目は、大学の諸活動に対する関心度などについての質問である。2021年4月に同科目の履修者46名に依頼し、5月に36名より回答があった（回答率78.3%）。なお、質問項目と回答内容を表2に示した。

(2) アンケート調査結果（第1回目）

図1は、アンケートの質問に対する回答を点数化したものである（注3）。【質問1】大学の基本的機能への関心度は3.4点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学の基本的機能と学生がどう関わっているか知りたいから」（57.1%）、「大学の存在意義を知りたいため」（52.4%）などがあった。【質問2】大学を取り巻く経営環境への関心度は、回答の中で最も高い3.7点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「今後の大学の在り方を知りたいため」（70.8%）、「大学を取り巻く経営環境を知りたいため」（45.8%）などがあった。【質問3】大学の経営方針への関心度は3.5点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学の経営方針を把握したいため」（65.2%）、「今後の大学の運営に興味があるため」（52.2%）などがあった。【質問4】大学の組織への関心度は3.4点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「各組織と学生がどう関わっているか知りたいから」（72.2%）の割合が高かった。【質問5】大学間の連携への関心度は、回答の中で最も高い3.7点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「他の大学の活動に興味がある」

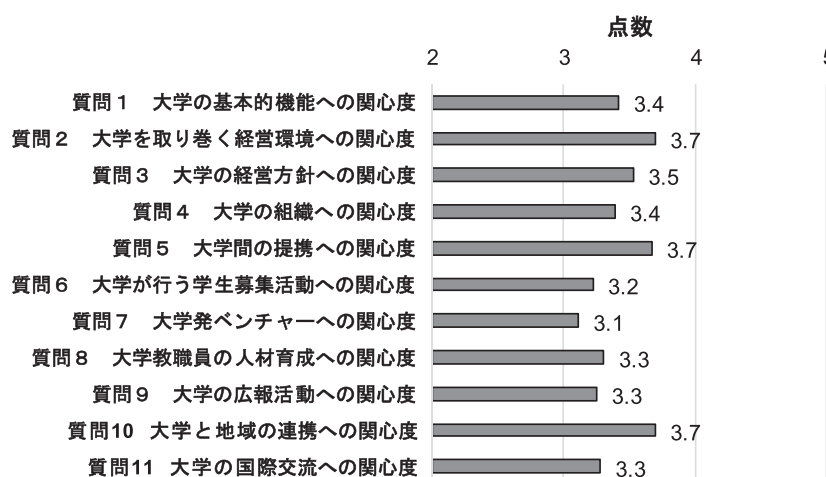


図1 授業開始当初のアンケート調査結果（第1回目），n=36（5点満点）

（50.0%）、「大学機能の充実は望ましいと思うため」（45.8%）などがあった。【質問6】大学が行う学生募集活動への関心度は3.2点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学が行う学生募集活動について知りたいため」（37.5%）などがあった。【質問7】大学発ベ

ンチャーへの関心度は、回答の中で最も低い3.1点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「具体的な大学発ベンチャー企業を知りたいから」（68.8%）などがあった。【質問8】大学教職員の人材育成への関心度は3.3点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「質の良いサービスを望みたいから」（57.9%）、「大学職員の人材育成について知りたいため」及び「研修の内容や方法に興味がある」が47.4%だった。【質問9】大学の広報活動への関心度は3.3点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学の広報活動について知りたいため」（43.8%）、「役に立つ情報が得られる期待が持てるから」（37.5%）などがあった。【質問10】大学と地域の連携への関心度は、回答の中で最も高い3.7点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学が地方活性化に大きな役割を果たすと思うから」（62.5%）、「大学と地域の連携について知りたいため」（50.0%）などがあった。【質問11】大学の国際交流への関心度は3.3点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「留学に興味があるから」（47.4%）、「大学の国際交流活動を知りたいため」（42.1%）などがあった。

1.2 授業終了時のアンケート調査（第2回目）

（1）調査目的及び調査方法

1.1に続き、「大学政策論入門」の受講生に対して、2回目のアンケート調査をオンラインにより依頼した（無記名回答）。調査項目は、第1回目に関連する質問であり、授業を受けて理解度を確認することを目的とする。2021年7月に同科目の履修者46名に依頼し、8月に27名より回答があった（回答率58.7%）。

（2）アンケート調査結果（第2回目）

図2は、アンケートの質問に対する回答を点数化したものである（注4）。【質問1】大学の基本的機能への関心度は4.1点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学の社会的役割を学んで重要と考えたため」（69.6%）、「大学の基本的機能の概要が理解できたため」（52.2%）などがあった。【質問2】大学を取り巻く経営環境への関心度は、回答の中で最も高い4.2点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学を取り巻く経営環境の概要が理解できて、より関心が高まったため」（53.8%）、「大学の経営環境への不

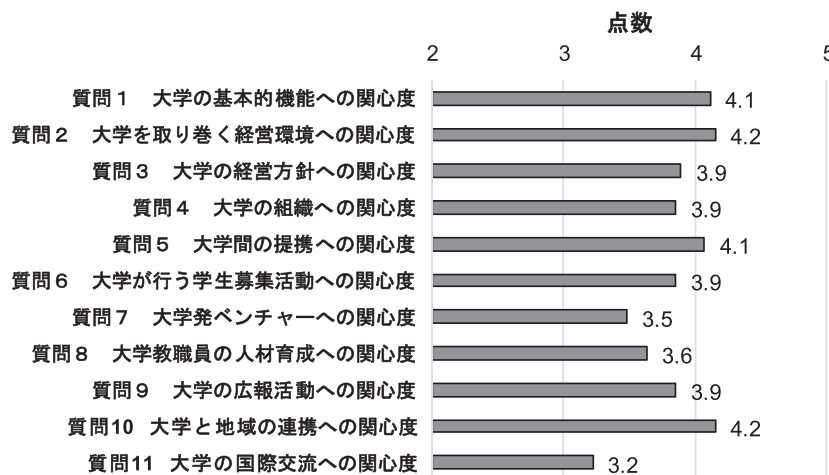


図2 授業終了時のアンケート調査 (第2回目), n=27 (5点満点)

安に関して学ぶことができたため」(50.0%)などがあった。【質問3】大学の経営方針への関心度は3.9点だった。肯定的回答者に理由を質問すると、「大学の経営方針を把握し関心を持ったため」(57.1%)などがあった。【質問4】大学の組織への関心度は3.9点だった。肯定的

回答者に理由を質問すると、「大学の各組織の役割を理解し,より深く知りたいと思ったため」(52.2%)などがあった。【質問5】大学間の連携への関心度は4.1点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「他の大学の活動に興味を持ったため」(65.2%)などがあった。【質問6】大学が行う学生募集活動への関心度は3.9点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「受験制度やオープンキャンパスなど,学生募集の取り組みに興味を持ったため」(50.0%)などがあった。【質問7】大学発ベンチャーへの関心度は3.5点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「就職の選択肢になるかもしれないため」(62.5%),「大学の研究成果の展開に興味を持ったため」(50.0%),「地域経済の振興に関わる重要な動向と思うため」(50.0%)などがあった。【質問8】大学職員の人材育成への関心度は3.6点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「大学において,質の良い教育サービスを受けたいから」(66.7%)などがあった。【質問9】大学の広報活動への関心度は3.9点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「大学広報の意義を把握し,その効果を知りたいと思ったため」(54.5%),「今後,役に立つ情報が得られる期待が持てそうだから」(50.0%)などがあった。【質問10】大学と地域の連携への関心度は回答の中で最も高い4.2点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「教育研究の社会還元の意味を学び,大学の重要な役割と感じたため」(56.5%),「地方活性化を果たす上で,大学と地域の連携が起爆剤になると考えたため」(52.2%)などがあった。【質問11】大学の国際交流への関心度は最も低い3.2点だった。肯定的回答者に理由を質問すると,「留学の状況を把握して,より関心が高くなったから」及び「国際交流の意義を学んで,留学生と交流したいと考えたため」(ともに45.5%)などがあった。

1.3 第1回目と第2回目のアンケート調査結果の比較

表1は,第1回目(図1)と第2回目(図2)のアンケート調査結果(点数)の差異を示したものである。平均すると,第1回目:3.4点,第2回目:3.8点であり,0.4点高くなった。項目の中で比較的,差異が大きかったものは「質問1 大学の基本的機能への関心度」(0.7点),「質問6 大学が行う学生募集活動への関心度」(0.6点),「質問9 大学の広報活動への関心度」(0.6点)などである。一方,「質問11 大学の国際

表1 大学政策への関心度に関わる第1回目と第2回目のアンケート調査結果の比較

| 質問項目 | アンケート調査 | | 差異 (B)-(A) |
|----------------------|----------|----------|---------------|
| | 第1回目 (A) | 第2回目 (B) | |
| 質問1 大学の基本的機能への関心度 | 3.4 | 4.1 | 0.7 |
| 質問2 大学を取り巻く経営環境への関心度 | 3.7 | 4.2 | 0.5 |
| 質問3 大学の経営方針への関心度 | 3.5 | 3.9 | 0.4 |
| 質問4 大学の組織への関心度 | 3.4 | 3.9 | 0.5 |
| 質問5 大学間の提携への関心度 | 3.7 | 4.1 | 0.4 |
| 質問6 大学が行う学生募集活動への関心度 | 3.2 | 3.9 | 0.6 |
| 質問7 大学発ベンチャーへの関心度 | 3.1 | 3.5 | 0.4 |
| 質問8 大学教職員の人材育成への関心度 | 3.3 | 3.6 | 0.3 |
| 質問9 大学の広報活動への関心度 | 3.3 | 3.9 | 0.6 |
| 質問10 大学と地域の連携への関心度 | 3.7 | 4.2 | 0.5 |
| 質問11 大学の国際交流への関心度 | 3.3 | 3.2 | -0.1 |
| 平均 | 3.4 | 3.8 | 0.4 |

交流への関心度」のみ
0.1 点低くなった。このように、項目ごとに異なる傾向が見られた。特に、関心度の高かった項目は、第2回目のアンケート調査で4点を越えた「大学の基本的機能」、「大学を取り巻く経営環境」、「大学間の提携」、「大学と地域の連携」である。

小括

本稿は、学生の大学政策に対する関心度を明らかにするため、高知大学の学生で「大学政策論入門」の受講生を対象にしたアンケート調査分析を行った。その結果、大学政策の中で関心度の高いテーマや、その理由、「学びによる関心度の変化」などの状況を明らかにした。「学びによる関心度の変化」は、全体的に向上しているものの、「大学の国際交流への関心度」が低くなるという課題が見られた。

大学政策に関する動向や大学の事業活動などを、身近な事例やトピックを踏まえながら、分かりやすく解説することが、大学のステークホルダーである学生の大学政策に対する理解を深めたり、大学に対する意見や要望を表すことにつながるのではないだろうか。我が国の大学において、学生の意見や要望を適切な方法で受け止めて検討材料とし、今後の大学運営や方針に活かすような仕組みを考えていくことが望まれる。

表2 授業開始当初のアンケート調査（第1回目）の質問項目と回答内容

| No. | 質問項目 | 質問についての説明文 | 回答（一つのみ選択） | 回答が「5強くある」「4ややある」場合に該当する理由をお教えてください（複数選択可） |
|-----|------------------------------|--|---|---|
| 1 | 大学の基本的機能（教育研究,社会貢献）に関心がありますか | 大学の基本的機能として、教育研究と社会貢献があります。これは、教育基本法や学校教育法で定められているもので、大学の設置者を問わず全ての大学に共通する機能です（具体的な方法は大学により異なります）。 | 1 まったくない 2 あまりない 3 どちらともいえない（分からない） 4 ややある 5 強くある | 1. 大学の基本的機能について知りたいため、2. 大学の存在意義を知りたいため、3. 大学の社会的役割は重要と思うため、4. 大学の基本的機能と学生がどう関わっているか知りたいから |
| 2 | 大学を取り巻く経営環境に関心がありますか | 18歳人口の減少や私立大学数の増加、国際競争力の低下など、大学を取り巻く経営環境は厳しくなっています。 | | 1. 大学を取り巻く経営環境を知りたいため、2. 今後の大学の在り方を知りたいため、3. 大学の経営環境に不安を感じるため |
| 3 | 大学の経営方針に関心がありますか | 大学は建学の精神などの下に設置されており、それぞれに経営者が掲げる経営方針に基づき運営されています。経営方針の実現性は、今後の大学経営の成否を見るうえで重要な課題です。 | | 1. 今後の大学の運営に興味があるため、2. 大学の経営方針を把握したいため、3. 大学の役員の職務を知りたいから、4. 大学の先行きに不安を感じるため |
| 4 | 大学の組織に関心がありますか | 大学が事業活動を行うためには、様々な組織（学部などの教育組織、総務部や学生部などの事務組織）の業務運営が不可欠です。 | | 1. 大学の各組織の役割について知りたいため、2. 大学の組織を多く知って利用したいから、3. 各組織と学生がどう関わっているか知りたいから、4. 今後、大学のどこかの組織と関わりを持つかも知れないから |
| 5 | 大学間の提携に関心がありますか | 大学と大学が提携して協力関係を結ぶことで、教育研究や経営力の充実を図ったり、新しい教育サービスが展開できる期待が持てます。 | | 1. 大学間の提携について知りたいため、2. 新たな教育サービスが受けられる期待が持てる、3. 他の大学の活動に興味がある、4. 大学機能の充実が望ましいと思うため |

| | | | | |
|----|----------------------|--|--|--|
| 6 | 大学が行う学生募集活動に関心がありますか | 大学が行う学生募集活動は、入学者選抜に関するもの、入試広報に関するもの（入試説明やオープンキャンパスの実施、CMや新聞広告など）、学生募集活動に関わるデータの収集と分析があげられます。 | | 1. 大学が行う学生募集活動について知りたいため、2. 受験を通じて大学の学生募集活動に興味を持ったため、3. オープンキャンパスへの参加を通じて大学の学生募集活動に興味を持ったため、4. 入試説明会への参加を通じて大学の学生募集活動に興味を持ったため、5. 多くの受験生に関心を持ってもらいたいから |
| 7 | 大学発ベンチャーに関心がありますか | 大学発ベンチャーとは、大学が関わった研究成果を基に（ほとんどが特許を取得して）起業することを言います。政策的な支援もあり、2000年代に入り急増し大学発ベンチャー企業は2千社程度になりました。地方都市において集積して作られる事例があります。 | | 1. 大学発ベンチャーについて知りたいため、2. 大学の研究成果の展開に興味があるから、3. 具体的な大学発ベンチャー企業を知りたいから、4. 就職の選択肢になるかもしれないため、5. 地域経済の振興に関わる重要な動向と思うため |
| 8 | 大学教職員の人材育成に関心がありますか | 大学には、教員と事務職員などが働いています。彼らが人材育成の方針や計画に基づいて研修やスキルアップのためのプログラムを受けることによって業務の質や効率化を図り、教育研究サービスの向上につなげていくことが望まれます。 | 1 まったくない | 1 大学職員の人材育成について知りたいため、2. 質の良いサービスを望みたいから、3. 研修の内容や方法に興味がある、4. 大学職員の業務内容に興味があるため |
| 9 | 大学の広報活動に関心がありますか | 大学の広報には「何のために」「誰をターゲットにするか」「どう広報を行うか」「効果の内容」などのポイントがあります。具体的には、入学志願者の獲得を目的とする「入試広報」、大学の特徴や活動を発信することで活動内容を発信したり、イメージやブランドを向上させることを目的とするものがあります。 | 2 あまりない、3 どちらともいえない（分からない）、4 ややある、5 強くある | 1 大学の広報活動について知りたいため、2 大学の活動に興味があるから、3 役に立つ情報が得られる期待が持てるから、4 大学の活動を社会に知ってもらいたいから |
| 10 | 大学と地域の連携に関心がありますか | 大学と地域の連携は、大学の基本的機能の一つである「社会貢献」の具体的な活動です。大学と地域が連携することにより、大学が持つ教育研究を社会に還元して地域の課題解決に結び付け期待が持たれます。あるいは、地域の活性化や発展を目指します。 | | 1 大学と地域の連携について知りたいため、2 教育研究の社会還元は重要と思うから、3 大学が地方活性化に大きな役割を果たすと思うから、4 大学の地域貢献活動に参加してみたいから |
| 11 | 大学の国際交流に関心がありますか | グローバル社会においては、大学を核とする国際交流活動は重要な課題です。喫緊では、国際社会で通用する人材育成や、世界的な労働力不足に起因する人材獲得競争があげられます。多くの大学では、大学の国際交流に力点を置いて、外国人留学生及び海外留学生への支援、留学生交流の実施など、様々な取り組みを行っています。 | | 1 大学の国際交流活動を知りたいため、2 大学の国際化を促進するべきと思うから、3 留学に興味があるから、4 留学生と交流したいから |

注

注1 「大学政策論入門」のシラバスは、高知大学ウェブサイト（http://www-kulas.jimu.kochi-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2021&lct_cd=03027）参照。

注2 アンケート調査の実施にあたり、学生に対して「分析結果を高知大学の研究紀要に使用すること（教育研究以外には使用しない）」「個々の状況は明らかにしないこと」をこたわった上で依頼した。

注3 回答は「1 まったくない」=1点、「2 あまりない」=2点、「3 どちらともいえない（分からない）」=3点、「4 ややある」=4点、「5 強くある」=5点により集計して平均点を算出した。

注4 回答は「1 まったくない」=1点、「2 あまりない」=2点、「3 どちらともいえない（分からない）」=3点、「4 やや高まった」=4点、「5 大きく高まった」=5点により集計して平均点を算出した。

文献

- 1) 蝶慎一 (2011) 「学生の視点」からみる学生支援『大学経営政策研究』(1), p.171.

令和3年(2021)10月22日受理

令和3年(2021)12月31日発行